

2021年3月期（2020年度） 第1四半期
決算説明資料

2020年8月

JASDAQ : 3423

 株式会社 **エスイー**

1. 2020年度第1四半期 連結決算実績
2. セグメント別の状況

1. 2020年度第1四半期 連結決算実績

2. セグメント別の状況

第1四半期連結決算実績サマリー（前年同期比）

サマリー

前年同期比～減収減益 新型コロナウイルス感染症拡大・期初受注残減少の影響大、
建設用資機材の製造・販売事業、補修・補強工事業は好調維持

（単位：百万円）

	2019年度 1Q	2020年度 1Q	増減
売上高	5,583	4,885	▲698
営業利益	333	156	▲176
（対売上高比）	（6.0%）	（3.2%）	（▲2.8%）
経常利益	323	161	▲161
（対売上高比）	（5.8%）	（3.3%）	（▲2.5%）
親会社株主に帰属する 四半期純利益	124	81	▲43
（対売上高比）	（2.2%）	（1.7%）	（▲0.6%）

・売上高

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、建築金物分野・建設コンサルタント事業で大幅減
- 期初受注残高を主因とする鉄骨工事分野の減少
- 建設用資機材の製造・販売事業及び補修・補強工事業は好調を維持

・利益

- 上記減収要因に加え、ケーブル製品分野における利益率の高い海外輸出案件が2019年度に終了したことにより、建設用資機材の製造・販売事業も減益になった
- 販売管理費は、自粛の影響等により営業経費等が減少

第1四半期連結決算実績サマリー（営業利益増減）



株式会社 エスイー

（単位：百万円）

営業利益 前年同期比 ▲176百万円

①新型コロナウイルス感染症拡大を主因とする
建築金物分野・建設コンサルタント事業の粗利益減

②ケーブル製品分野での海外輸出高収益案件終了を
主因とした建設用資機材の製造・販売事業の粗利益減

③期初受注残を主因とした粗利益減

④営業経費減等による
販管費の減少

333

△144

△51

△19

+36

156

'19年度1Q
営業利益

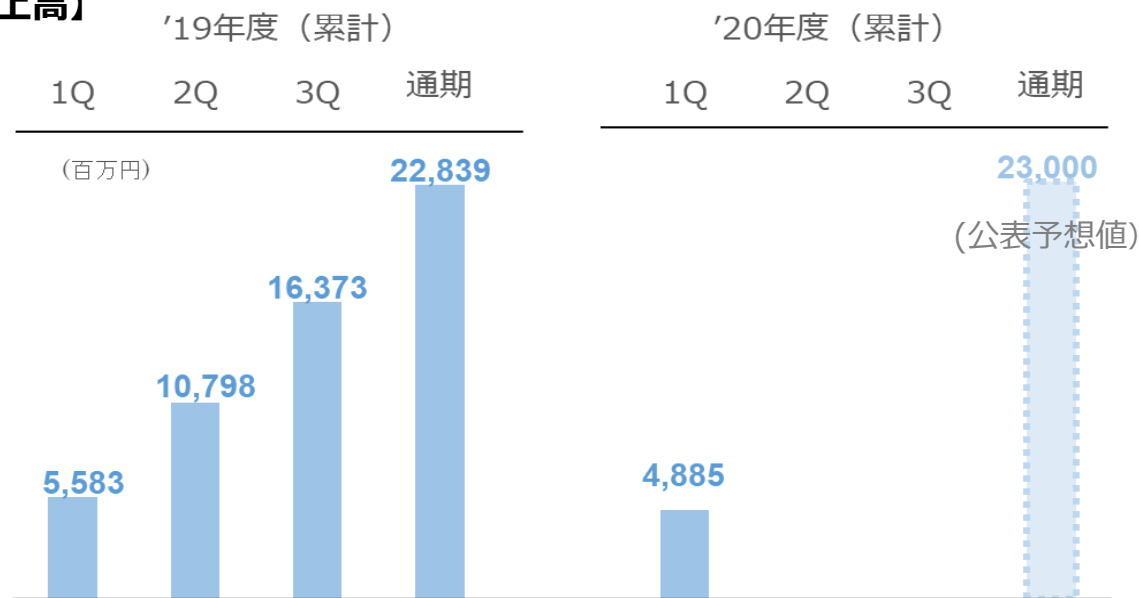
'20年度1Q
営業利益

第1四半期連結決算実績サマリー（公表予想比）

サマリー

セグメント別の濃淡はあるものの連結全体の計数はまずまずの進捗

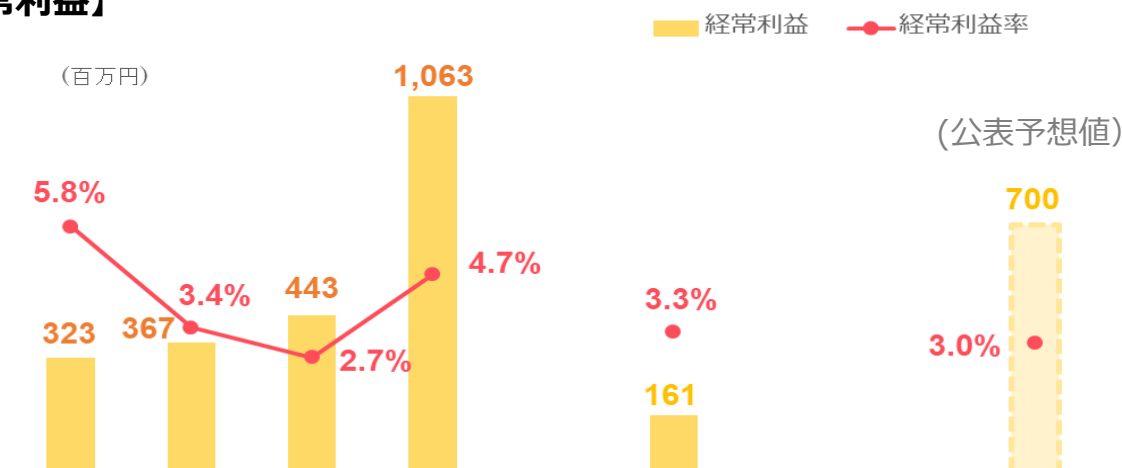
【売上高】



・売上高

- 公表予想では、2020年度は、ケーブル製品を中心とした建設用資機材が牽引する一方、他のセグメントは苦戦を予想
- 建設用資機材及び補強・補修工事業は好調を維持する一方、新型コロナウイルス感染症拡大により苦戦。
- 結果、売上全体では概ね想定を上回る状況だが、ケーブル製品等が牽引する構図がより際立つ状況。

【経常利益】



・利益

- 2019年度のケーブル製品分野における利益率の高い海外輸出案件が終了したことにより、前年同期比では減益となっているが、公表予想比では無難な水準。

連結貸借対照表サマリー

サマリー

株主配当金の支払により純資産は減少、有利子負債は増加

資産			負債		
2020年 3月末	2020年 6月末	増減	2020年 3月末	2020年 6月末	増減
22,031	21,714	(主な内訳) +742 現金及び預金 △1,278 受取手形及び売掛金 △161 電子記録債権 +114 原材料及び貯蔵品	13,704	13,564	(主な内訳) △336 支払手形及び買掛金 △184 未払法人税等 +255 その他流動負債 △140
					純資産
			2020年 3月末	2020年 6月末	増減
		△316	8,326	8,149	(主な内訳) +81 親会社帰属四半期純利益 △299 株主配当金支払い +51 有価証券評価差額金 △176

①例年、第1四半期は配当金の支払いにより利益剰余金が減少する傾向がある

	2020年3月末	2020年6月末	増減
運転資本 (百万円)	5,115	4,293	△822
有利子負債 (百万円)	5,470	5,705	+235
純資産 (百万円)	8,326	8,149	△176
自己資本比率 (%)	37.6	37.4	△0.2
D/Eレシオ (倍)	0.66	0.70	+0.04

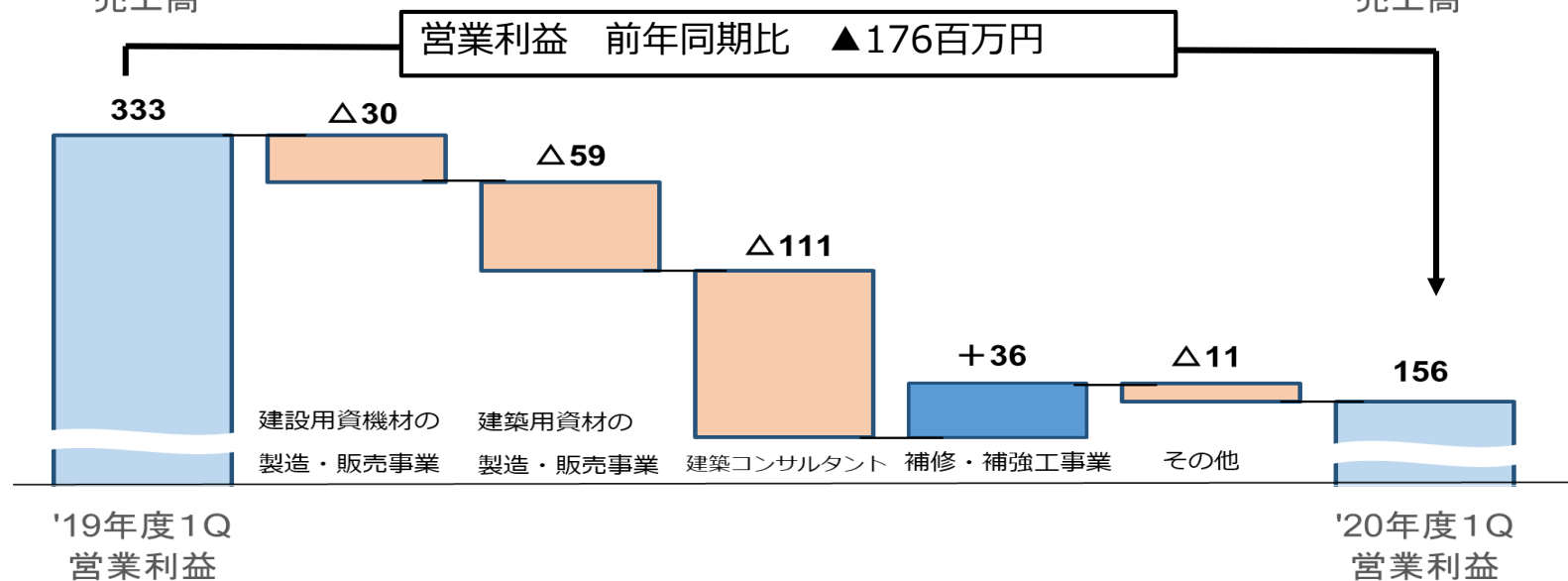
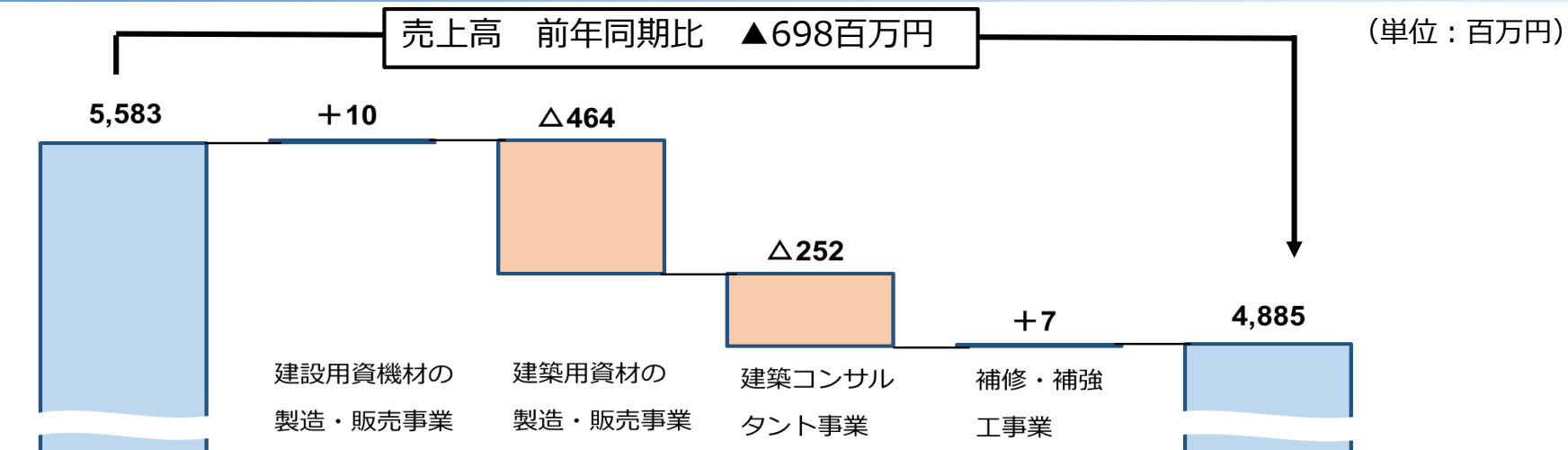
②前年度末にかけて積み上がった売上債権の回収

③新工場（コンクリート製品）建築資金借入実施

1. 2020年度第1四半期 連結決算実績

2. セグメント別の状況

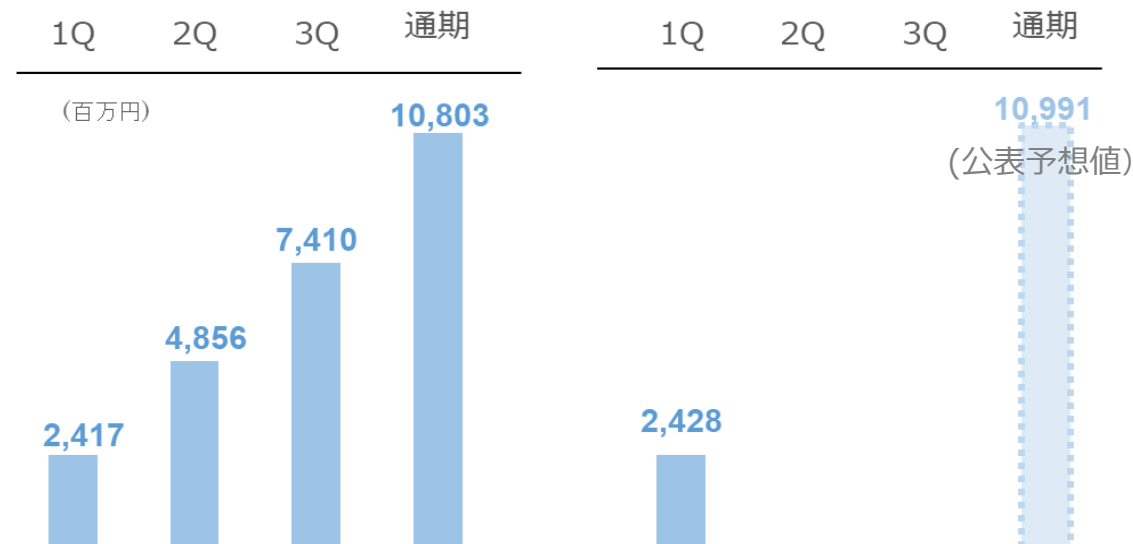
セグメント別増減（前年同期比）



【売上高】

'19年度（累計）

'20年度（累計）



○前年同期比～売上横ばい、減益

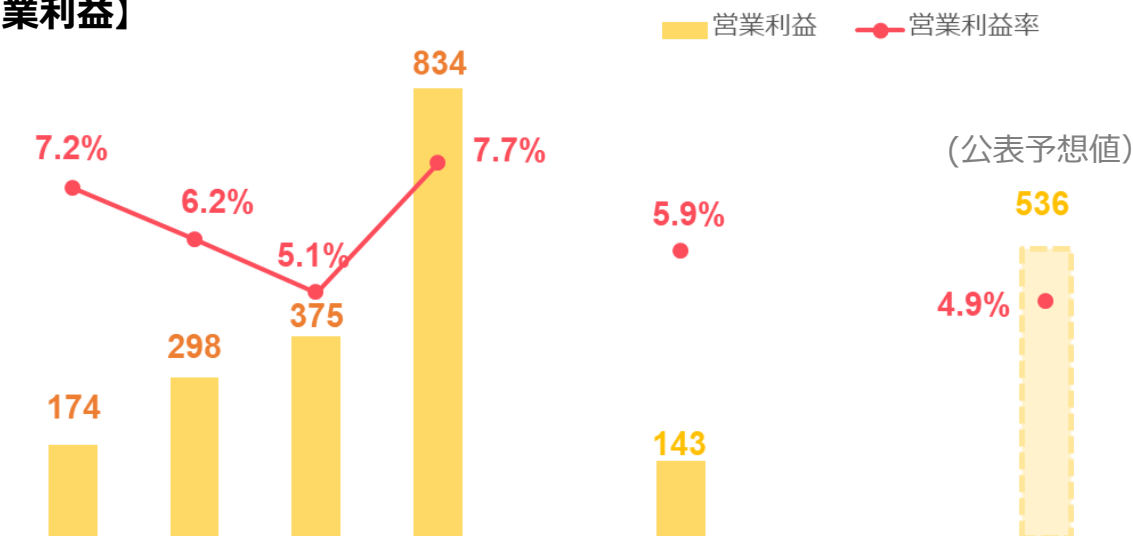
・売上高

- 国土強靱化や橋梁耐震補強、豪雨災害対策等市場環境の追い風を背景に、ケーブル製品を中心に好調を維持

・利益

- 2019年度のケーブル製品分野における利益率の高い海外輸出案件が終了したことにより、減益となった

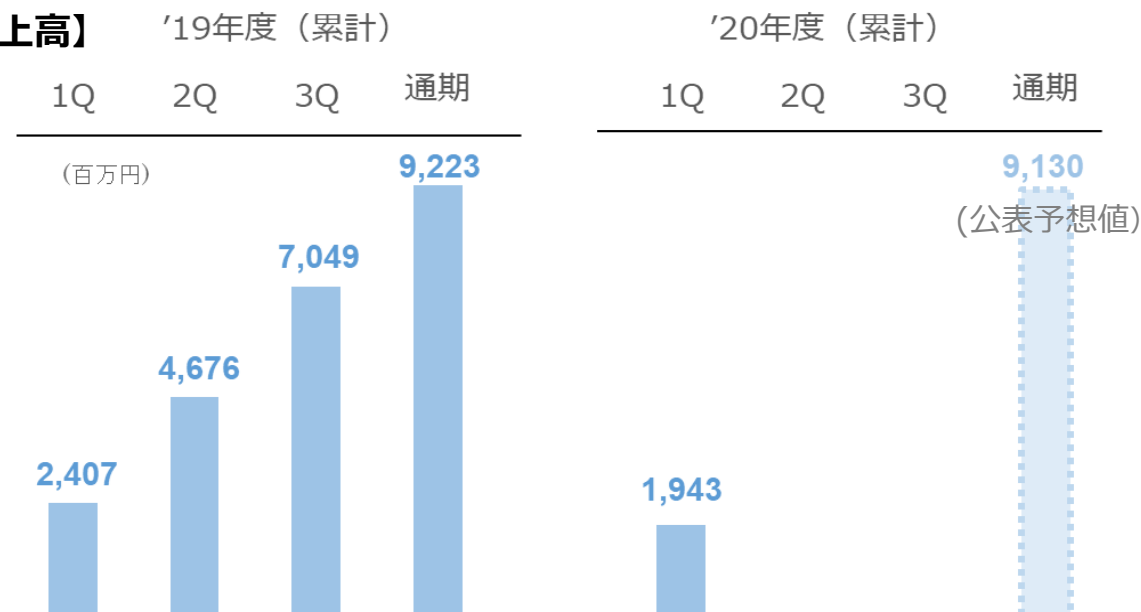
【営業利益】



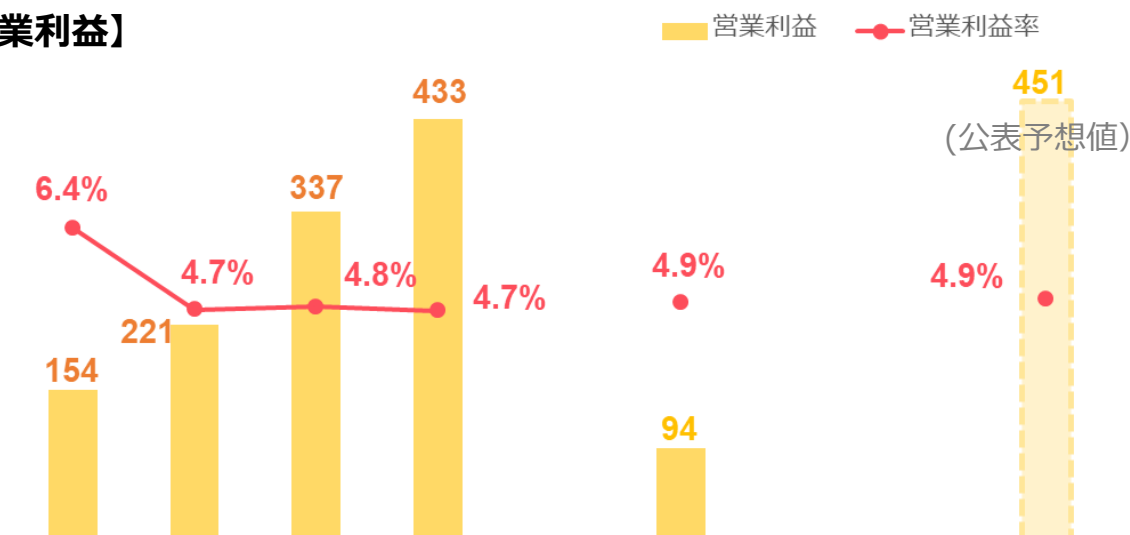
○公表予想比～予想通り順調な出だし

- 売上高・利益ともに順調な出だしで、苦戦する他のセグメントのカバーも狙う

【売上高】



【営業利益】



○前年同期比～減収減益

・売上高

- 建築金物分野において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により吊りボルト等の売上が大きく落ち込んだ
- 鉄骨工事分野は期初受注残が前年度より少なかったことによる減収

・利益

- 減収の影響が大きく、採算改善・販管費抑制でカバーを試みるも、減益

○公表予想比～建築金物は厳しいが、利益面で踏ん張る

- 鉄骨工事分野は順調に受注残を消化するも、建築金物分野は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で想定を大幅下回った
- 売上減を採算改善・販管費抑制で想定からの大幅悪化を回避

【売上高】

'19年度（累計）

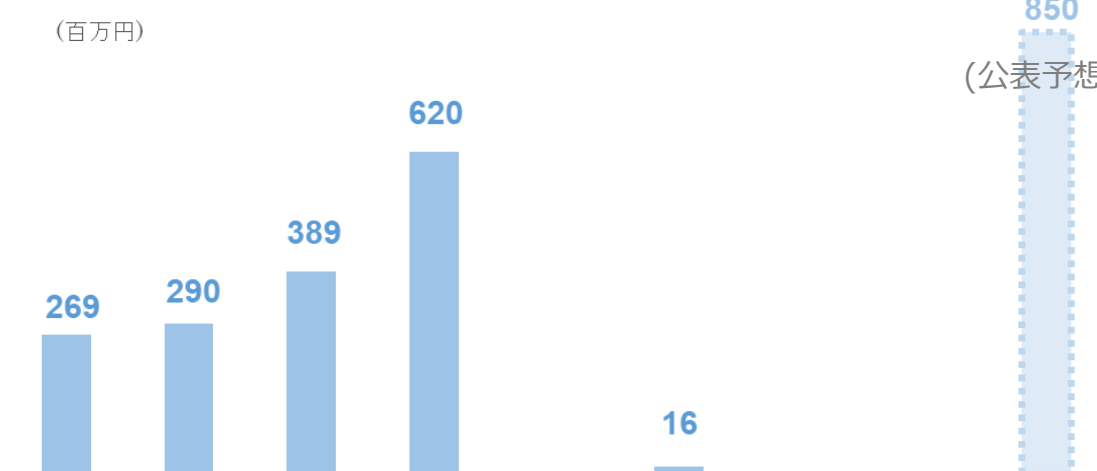
'20年度（累計）

1Q 2Q 3Q 通期

1Q 2Q 3Q 通期

（百万円）

850
（公表予想値）



○前年同期比～大幅減収減益

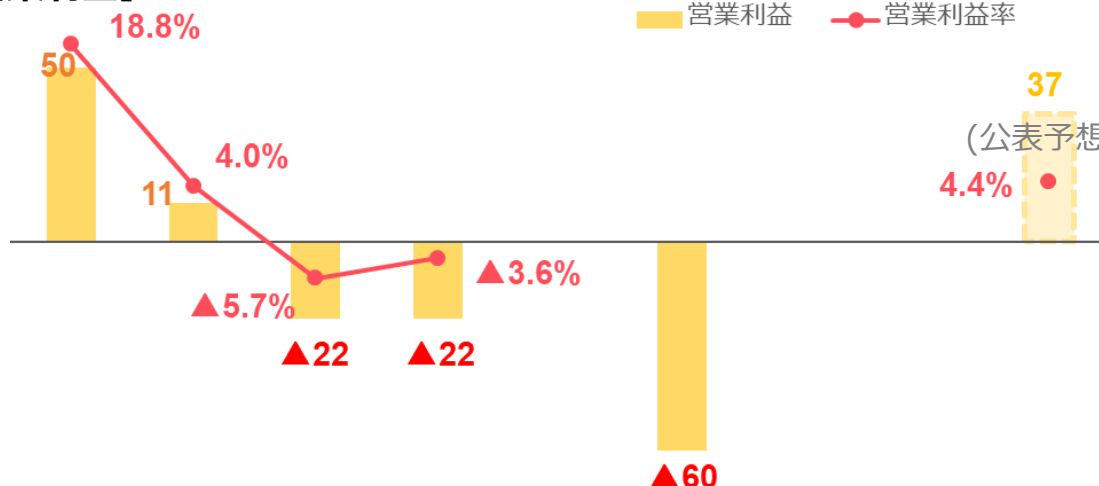
・売上高・利益

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で海外現地活動の中断及び来期への繰り越しが発生し、大幅な減収減益

【営業利益】

営業利益 営業利益率

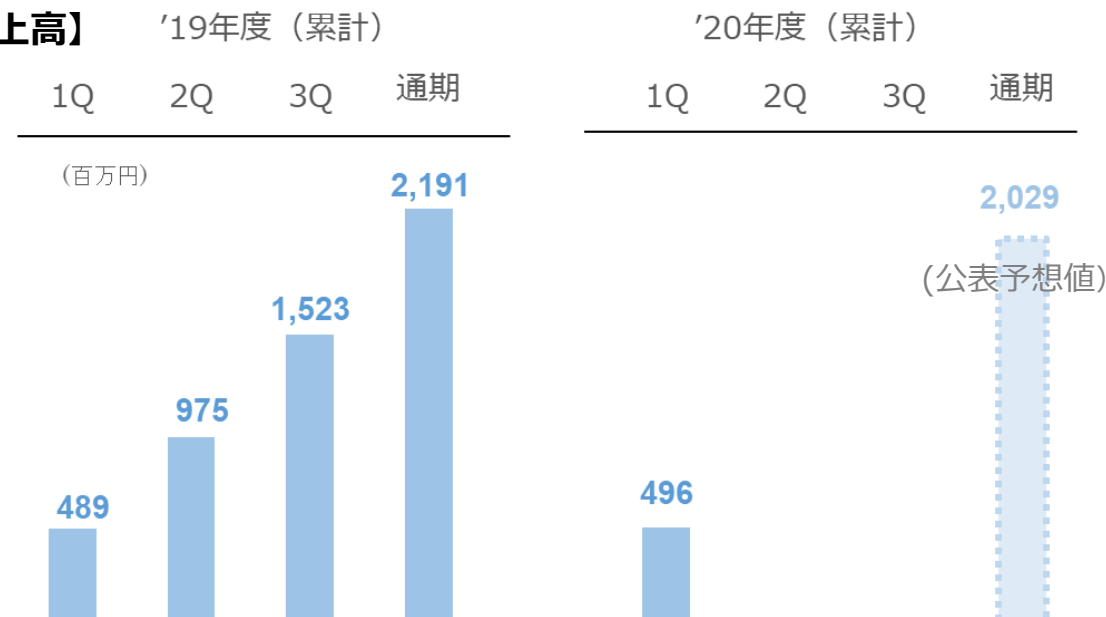
37
（公表予想値）



○公表予想比～厳しい出だし

- 売上高・利益ともに新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、低調。
- 受注拡大、工期再開時の迅速な対応を推進、第1四半期の遅れをカバーしていく

【売上高】

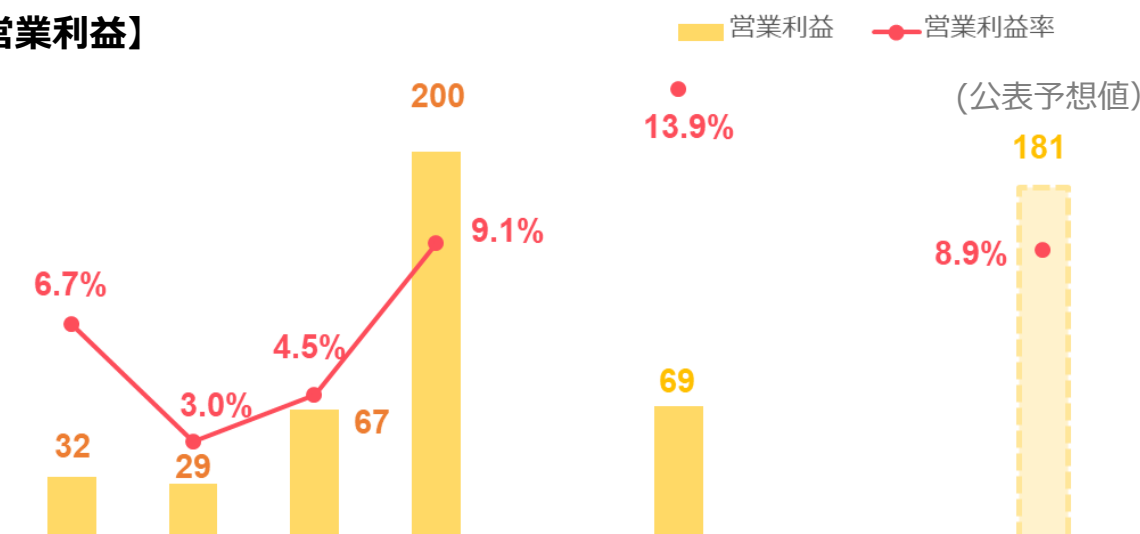


○前年同期比～増収増益

・売上高・利益

- 国土強靱化や橋梁耐震補強、豪雨災害対策等市場環境の追い風を背景に、好調を維持
- 新型コロナウイルス感染症拡大による工事中断があったものの、期初受注残を順調に消化

【営業利益】



○公表予想比～予想通り順調な出だし

- 売上高・利益ともに順調な出だいで、熊本県等豪雨災害の影響も第1四半期は無し

将来見通しに関する記述についての詳細〔ご参考〕

当資料は、あくまで株式会社エスイーをより深く理解していただくためのものであり、当資料に記載されたいかなる情報も、当社株式の購入や売却を勧誘するものではなく、またこれらに関する投資アドバイス目的で作成されたものでもありません。

本資料に記載されている当社の分析、業績見通し、計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、現時点で入手可能な情報に基づく見解や将来の業績に係る見通しであります。これらは現時点で入手可能な情報に基づき株式会社エスイーの経営者が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの分析・業績見通しのみに依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。

International Engineering Maker

